

平成 24 年 12 月 21 日

## 12 月の木材価格・需給動向

### 1．国産材(北関東)

栃木の丸太生産は引続き順調、入荷・集荷とも平年を上回る。全般に落ち着いた荷動が続き、スギは柱材、中目材ともに順調な引合。ヒノキは入荷が少ないことから柱材の引合いが好調。秋需の期待は不発に終わり入荷量が増加する中で全般に弱保合。スギは順調な引合いが続くも価格に転嫁できず弱保合。ヒノキは依然出材量少なく柱材のみ強保合で値戻が続くが、中目材は弱保合。群馬の製材工場の操業状況はそこそこ。原木の入・出荷はスギ 3m が多く 4m が若干少い。丸太在庫はスギ、ヒノキとも 4m 中目が少なめ。製品販売状況は寒冷地の冬場仕事の建方が始まり多少忙しくなる見込。一般住宅建設は相変わらず低調、公共向もほぼ終了。

### 2．米材

10 月の米国新設住宅着工戸数は、前月比 3.6% 増の年率 89.4 万戸。米国丸太は地場製材の需要が引続き旺盛、中国の買いも継続しており、価格は強含んでいる。カナダ丸太は伐採量が減少しており、米国同様価格は強い。産地の港頭在庫は、出庫が順調で、11 月末では減少している模様。ウェアハウザー社の 12 月積み米マツ IS ソートは前月比 10 \$ アップ。米材丸太の入荷は横這い、出荷は増加、在庫は減少傾向。国内大型港湾製材工場の 11 月の動きは好調。内陸部製材工場の荷動きは低調で、当用買いが続く。製材品の TLT(東京木材埠頭) 11 月入荷量は、38.7 千 m<sup>3</sup> で前月比 7.1% 増。出荷量は 40.9 千 m<sup>3</sup> で同 12.3% 減、在庫は 3.9% 減。産地情勢は、本格的な伐採期に入り、天候も良く出材は順調だが、米国需要が旺盛なこと、更に中国市場も回復基調にあり、需給が締まる展開。産地価格は、基準となるランダムレングスが \$ 360 をつけ、1 月以降カナダの米国向け輸出製材品の関税がゼロになるとの予測から、相対的に安くなる日本向けも、価格切り上げを唱えるシッパーの動きが強い。国内の荷動きは堅調な新設住宅着工を反映し好調で、今後も継続する見通し。

### 3．南洋材

サバは雨季と需要低迷が重なり出材量は減少。現地製材工場は依然メインとな

る欧州市場が経済危機の長期化により受注激減が続き、更に原木高や来年度から始まる最低賃金制導入の中で厳しい状況で、操業停止工場も増えている。サラワクも雨季と需要減から出材量は減少し、輸出用原木価格に大きな下落は無い。最低賃金制は労働者を多く抱える大手シッパーに大きな影響が予想され、製品への転嫁を唱える状況。PNG・ソロモンは景気低迷により、中国、日本からの引合弱く横這い。南洋材丸太の入荷は減少、出荷は横這い、在庫はやや減少。製材品の入荷は横這い。原木の販売は合板・製材用とも低迷。製材品は先行き不透明な中、当用買いがほとんどで、荷動き悪い。

#### 4．北洋材

ロシア極東は日本向エゾマツが在庫薄で漸く動き。冬将軍到来が大幅に遅れ11月下旬でも冬山造材が本格化していない。カラマツも同様、日本向け出材は停止、結果としてない物ねだりの価格高騰。シベリア地方は冬山造材が本格的にスタートし、積出港への貨車輸送も順調。エゾマツ価格がアカマツを上回っているとの情報がありアカマツの引合いが今後増える可能性。富山新港の11月丸太入荷量は13.7千 $m^3$ (エゾマツ11.3千 $m^3$ 、カラマツ2.4千 $m^3$ )、製品は5.1千 $m^3$ で前月比32%減。丸太価格はエゾマツ、カラマツは強含、アカマツは横這い。製材品では良材が強含。丸太の荷動きは順調で、製材品も回復。在庫状況は0.5ヶ月位で変わらず。国内製材工場の採算状況はエゾマツ、アカマツとも不採算。稼働状況は原木入荷減少で生産調整。

#### 5．合板

国産材丸太は、強含み横這い、南洋材、米材、北洋材丸太は、為替で円安分が上昇。メーカーは基本的には当用買いの姿勢に変わりなく、冬場の伐採減を見越し12月は幾らか多めに手当てをする見込。10月の国内合板生産量23.5万 $m^3$ のうち、針葉樹合板は21.3万 $m^3$ 、出荷量は21.9万 $m^3$ で、ともに今年最高水準。先月に比べ生産量は大幅に増加したが好調な出荷で、在庫量は19万 $m^3$ と微減。販売価格はじり安の展開が続いたが、東西のメーカーによる値戻しへの足並揃い、漸く下落に歯止めがかかり、市場に浸透し始めた。増産傾向が懸念材料で冬場を見越した生産調整が今後のポイント。国産南洋材合板の荷動きは輸入合板でタイトな品目を中心に回復傾向。針葉樹合板は値上げを唱えるメーカーが増え、市場に浸透し始めている。底値感が日増しに強くなり手当てを進める動き顕著、荷動きは活発な状況。輸入合板は入船遅延のため12mm厚品がタイト。市場では先高観が浸透し安値は払拭され、品薄品を中心に着実に値戻しが進行。針葉樹、輸入合板とも弱気な材料は乏しく、年内は上向きの状態が続き、好調な荷動きは暫く続く見通し。

## 6．構造用集成材

原料・ラミナの入荷は順調。暖冬の影響で WW の原木集荷が遅れ、今後の入荷に多少影響を与えそう。価格動向は、第 1 四半期の交渉になるが、円安にもかかわらず、日本のマーケットは在庫も少なく、物流があるとの見解から、価格上げでの提示。輸入集成材は 12 月に輸入柱、1 月に輸入梁の契約になるが、現地集成材工場の採算悪化と日本マーケットの動き予想から値上げ基調。国産集成材の受注は大変良い。現状は販売・荷動きも大変良く、先行きも良いと予測。在庫はごく少ない。特記事項として、集成材 RW 梁桁は、荷動きと入港遅れが重なり品薄状況で、駆込み需要も発生し、今週に入り 46,000 円/m<sup>3</sup> ~ 50,000 円/m<sup>3</sup> の唱えも出ている状況。

## 7．市売問屋

構造材の国産材はスギ、ヒノキとも小口の荷動あるが量的な動は鈍い。外材は産地からの入荷減等で一部製品に品不足感が見られるが、全般的には需要の盛上りに欠け大幅な改善は無い。造作材は国産材はリフォーム需要増により小口ながらスギ、ヒノキ造作材に引合増加。建具材の動きもまずまず。外材はピーラー、米ヒバ良材及び低価格材に引合出ている。スプルーは依然入荷難のため、良材が不足し対応が難しい状況。販売状況は市場の来場者は相変わらず低調、買方も年末を控え仕事量を確保したいが、年明けの動向不透明で必要当用買いに徹している。総選挙、知事選の特需でポスター掲示板用のスギ、ヒノキ小角が在庫を一層した模様。

## 8．小売

国産材の構造材はスギ KD 柱、小割、板割、ヒノキ KD 柱、土台いづれも保合。外材は米ツガ KD 平割、正角保合、ロシアアカマツ垂木は保合、WW 間柱は強保合。造作材はスプルー、ナラ、タモの平割良材少なく引続き強保合。WW、RW 集成材は梁、柱とも保合。針葉樹合板は強保合、ラワン合板は保合。床板、フローアは変わらず。プレカット工場の動向は、一部で年内上棟ぎりぎりもあり、年明け後の仕事も順調な状況。工務店は年明けに新築があり、例年より先が見えているが全般には動き悪く仕事が偏っている状況。

12月の需給・価格動向

1. 主要外材入出荷在庫量

		入荷量	出荷量	在庫量
米材	丸太	→	→	→
	製材品	→	→	→
北洋材	丸太	→	↗	↘
南洋材	丸太	→	→	→
	製材品	→		

矢印の表示は今月に対する翌月の動向を、下記の様に示したものである。

- ↑ 急増・急上昇
- ↗ 増加・上昇
- 横ばい
- ↘ 減少・低下
- ↓ 急減・急落

2. 合板供給量

国内製造量	輸入量		
	計	インドネシア	マレーシア
↗	↗	↗	↗

3. 価格動向

樹材種	形状	取引条件	樹種・寸法等	動向
国産材	丸太	卸売価格 (北関東、県内産 市場土場渡し)	スギ柱材 (3m) 2等	→
			スギ中丸太 (3.65m) 2等	→
			ヒノキ柱材 (3m) 2等	→
			ヒノキ中丸太 (4m) 2等	→
	製材品 (関東近県産 板は東北産)	首都圏・市売り 価格	スギ柱角 10.5×10.5×3m 特等	→
			スギ柱角 12.0×12.0×3m 特等	→
			スギ柱(KD) 12.0×12.0×3m 特等	→
			スギ加工板 1.3×18.0×3.65m 特等	→
			スギ間柱 10.5×3.0×3m 特等	→
		スギタルキ3.0×4.0×4m	→	
		ヒノキ柱角(KD) 12.0×12.0×3m 特等	→	
		ヒノキ土台角 12.0×12.0×4m 特等	→	
米材	丸太	産地価格	米マツ ISタイプ	↗
		国内卸売価格 (京浜・オンタ)	米マツ カスケード (カナダ産)	↗
			米マツ ISタイプ コースト	↗
	製材品 (カナダ産・ 現地挽き) (国内挽き)	東京・問屋店頭 渡し価格	米ツガ桁角(KD) Std&Btr S4S 10.5×10.5×4m	↗
			米マツ桁角(GR) Std&Btr S4S 4・1/8" 13'	→
		米ヒバ土台角(GR) Std&Btr 4・13/16" 13'	→	
		米マツ平角(KD) 特等 10.5×24.0×4m	→	
南洋材	丸太	産地価格	メランティレギュラー	→
		東京・水面筏 渡し価格	メランティレギュラー 60cm上、4m上 製材用	→
	製材品		産地価格	メランティレギュラー 60cm上、4m上 合板用
			東京・問屋店頭 渡し価格	ホワイトセラヤ 平割 (サバ州産) 同上2.4cm×込み×4m 定尺1等
北洋材	製材品	国内卸売価格 (東京問屋着値)	エゾマツ (3.0×4.0×3.8m) 特等	↗
			アカマツ (3.0×4.0×4m) 特等	↗
			カラマツ (10.5×10.5×4m) 特等	→
欧州材	製材品 (現地挽き)	東京・問屋店頭 渡し価格	ホワイトウッド 間柱 2.7×10.5×3m S4S FOHC	↑
			ホワイトウッド ラミナ 2.4×11.0×3m上 ラフ乱尺	↗
集成材	国産	東京・問屋店頭 渡し価格	ホワイトウッド 無化粧 JAS 5プライ	↑
	欧州産	〃	スギ 無化粧 10.5×10.5×2.98m	↗
合板	国産	東京・問屋店頭 渡し価格	タイプ2 F☆☆☆☆ 2.3mm厚 3×6	→
			タイプ2 F☆☆☆☆ 4.0mm厚 3×6	→
			型枠 12.0mm厚 3×6	↗
			針葉樹構造用 12.0mm 3×6 F☆☆☆☆	↗